

ASSP 2011 会議報告

白川 晃

電気通信大学 レーザー 新世代研究センター (〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1)

ASSP 2011 Report

Akira SHIRAKAWA

Institute for Laser Science, University of Electro-Communications, 1-5-1 Chofugaoka, Chofu, Tokyo 182-8585

(Received March 15, 2011)

1. はじめに

第26回となる固体レーザー分野の専門国際会議 Advanced Solid-State Photonics (ASSP) は2月13-16日にトルコ共和国イスタンブールで開催された。例年、米国で行われる Photonics West の翌週に開催されるが、場所が離れているため参加しやすくするように間隔を設け、2月中旬となった。会場はイスタンブール新市街の中心地 Taksim 広場のすぐそばにあるジェイランインターコンチネンタルホテル (Fig. 1) で、空港バスが発着する至便の地にあり、またボスポラス海峡が望める素晴らしいホテルであった。会議の運営、プログラムの進行は、OSA のスタッフと現地学生のボランティアにより滞りなく行われ、とても好印象であった。バンケットは旧市街の歴史地区にバスで移動し、ローマ帝国時代の Binbirdirek 貯水池跡を利用した厳粛で幻想的なレストランで大規模に行われた。希望者には市内ツアーも用意され、世界遺産の観光都市開催会議の参加者を楽しませる工夫が随所に盛り込まれていた。会議の成功は、プログラム委員長のイスタンブール・Koç 大の Sennaloglu 教授 (Fig. 2) の綿密で暖かい配慮のたまものである。ここに記して感謝した



Fig. 1 Ceylan InterContinental Istanbul, the venue of the conference.



Fig. 2 Photo at the reception. Prof. Sennaloglu, Prof. Taira and Mrs. Taira (from the right).

い。

筆者は今回より ASSP のプログラム委員を務めており、それで得られる情報も含めて紹介したい。

2. ASSP 2011 関連データ

主催学会である米国光学会 (OSA) は、複数の専門会議を同所開催する方針を進めていて、今回 ASSP は、2010 年に引き続き Lasers, Sources and Related Photonics Devices: OSA Optics & Photonics Congress を構成する 1 会議であった。構成会議の内容を Table 1 に示す。登録者数とは参加申込み時の主参加会議の申告に基づくもので、人数に重複はなく、参加者はどの会議にも参加できる。このように ASSP が歴史、登録者数、論文数共に圧倒し、基幹会議と言える。講演会場も最も大きい部屋があてがわれ、盛況であった (Fig. 3)。他の会議は登録者数が論文数を下回っており、ASSP 主参加者が他会議に出向いて講演している傾向が読み取れる。

ASSP の総論文数 143 件の内訳は、招待講演 8 件、通常講演 131 件、ポストデッドライン講演 4 件である。通常講演の採択率は 82% と高いが、単一セッション形式のた